

## 発表事項

- 1 レセプトデータ等の統計情報の提供状況
- 2 令和8年度委託金の状況
- 3 令和7年度診療報酬債権譲渡等の処理状況
- 4 新潟審査委員会事務局で発生した再審査紙レセプトの誤廃棄
- 5 令和8年3月審査分の審査状況
- 6 令和8年4月審査分の特別審査委員会審査状況

# 令和8年度委託金の状況

## 委託金の概要

### ■委託金とは

委託金は、基金法の目的である保険医療機関等に対する診療報酬の迅速・適正な支払に支障が生じないように、保険者から期日までに診療報酬が納入されない場合や災害等により納入できない場合に不足する支払資金に充当するため、基金法の定め及び保険者との契約に基づき、健康保険組合及び共済組合から委託金の預託を受けるもの。

### ■委託金算出方法

No	項目	方法
①	算出対象月	前年の7月、8月、9月診療分の最高月（平成2年度より実施） ※令和8年度は前年度の7月を最高月とした保険者が最も多い
②	請求算定額	①×政令による計算割合（0.15か月）
③	調整対象となる増減	新年度算定額が前年度委託金額と比較して、10%以上かつ、5千円以上

# 令和8年度委託金の状況

## ■令和8年度委託金額

**74,392,276千円** ※前年対比：11.8億円増

(内訳 共済組合：19,575,254千円、健保組合：54,817,022千円)

## ■年度別状況

年度	共済組合		健保組合		合計	
	保険者窓口数	委託金額（千円）	保険者窓口数	委託金額（千円）	保険者窓口数	委託金額（千円）
令和6年度	131	19,249,536	1,396	52,462,154	1,527	71,711,690
令和7年度	131	19,396,852	1,388	53,817,979	1,519	73,214,831
<b>令和8年度※</b>	<b>131</b>	<b>19,575,254</b>	<b>1,385</b>	<b>54,817,022</b>	<b>1,516</b>	<b>74,392,276</b>
(前年度比較)	(0)	(178,402)	(▲3)	(999,043)	(▲3)	(1,177,445)

※ 令和8年4月1日現在の数値である。

# (参考) 令和8年度委託金の状況

## 委託金に係る法令等（抜粋）

### ○社会保険診療報酬支払基金法

(略)

#### 第三章 業務

第十五条 基金は、第一条の目的を達成するため、次の業務を行う。

- 一 各保険者から、毎月、その保険者が過去三箇月において最高額の費用を要した月の診療報酬の政令で定める月数分に相当する金額の委託を受けること。

(略)

### ○社会保険診療報酬支払基金法施行令（政令）

内閣は、社会保険診療報酬支払基金法(昭和二十三年法律第二百二十九号)第二十二條の二の規定に基づき、この政令を制定する。

社会保険診療報酬支払基金法第十五条第一項第一号の政令で定める月数は、**おおむね百分の十五箇月**とする。

### ○診療報酬の審査支払に関する契約書（健保組合（共済組合も同様））※

(略)

第3条 基金は、基金法第15条第1項第1号の規定による金額の委託を受けるため、次条に規定する金額を、健康保険組合に請求するものとする。

第4条 基金は、前年の7月、8月又は9月のうち、最高額の費用を要した月の診療報酬の**おおむね0.15か月分**に相当する金額（以下「委託金額」という。）を、健康保険組合に対し請求し、同年4月30日までにその支払を受けるものとする。

2 前項の金額で、千円未満の端数を生じたときは、その端数は切り捨てるものとする。

3 基金は、第1項の規定による委託金額と前年度の委託金額を調整し、その差額の請求又は返還を行う。ただし、その総額に著しい増減がないときは、請求又は返還を行わないで、その旨を、健康保険組合に対し通知するものとする。

(略)

※協会けんぽは、委託金に代えて概算・精算方式による